

雑草が
あたり構わず
延び放題に延びている
この景色は胸のすく思いだ
人に踏まれたりしていたのが
いつの間にか
人の膝を没するほどに伸びている
ところによっては
人の姿さえ見失うほど
深いところがある
この景色は胸のすく思いだ
伸び蔓れるときは
どしどし延び広がるがいい
そして見栄えはしなくとも
豊かな花をどっさり咲かせることだ

雑草 / 北川冬彦

